



行發日八十二月十

〔日刊休〕

成辰役各藩戰死者

佐 藤 信 教

「爲戊辰役各藩戰病死者追福」と刻せられたる一基の墓碑亭々として高く斧へ、そゝろに往昔を偲ばれて轉た感概無量であつた、今其建設の概要を掲げんに。先是故元代議士高岡唯一郎、現神谷村長佐藤久三郎の兩氏が輓近の功利的歐米の思想に毒せられて大和民族の本來の使命に對する自覺會を誤り苟安惰眠を貪りつゝに墮落の境に近かんとする。兩氏が輓近の功利的歐米の出資として建設の檄を飛ばし、博く世の贊同を求めるとして神谷村舊陣跡の立錐山麓に地を相し建立せらるるものであつて、是れが建設の辭に曰く、

(前略) 一は勤王と云ひ一は体幕と云ひ其精神は齊しく君國に盡す赤誠の結晶でありました、所謂吾が國民精神の發現あります、其氣焰と云ひ、其蹶起と云ひ、無私公道の信念を貫くに社稷と共に殉死する外何物もなかつたのであまして、其最後は花と散つて護國の鬼となるもの、其純心無垢、大和魂の精華は人心を感動せしめ、遺烈を千載に傳ふるもの定に故おへります、故に國民精神に對へは以る。我國民的精神性に背戾せんとする所である最も遺憾とする所であります、故に國民精神作興の一助としても、其遺烈を後昆に傳へまる心配はなきか、我等は日本國の鬼とならぬが如く逝る所を學ばんと欲せば先づ英雄のなれたり

警時 以て其事に處し安心の地を得べし……」

(西郷、南洲)

藤 佐 藤 信 教

して思想善導の一中心に朝らしめんと欲して弔魂碑建設の件を博く各務に説く次第であります、幸ひに其意を諒とせらねば共に欣快とするばかりでなく、在天の英靈亦髪形として榮けられることでありませう』

さりしとは實に生きた教訓は今も尚は吾が學び名を譲るなり』と合唱禮拜を怠らざりしは吾が學び名を譲るなり』

市川 健次

香を吐く

柿柴 寧 梅 ト ム に して

枯葉を固め 悪の念無きや

行旅病舎へ薬分つたか

夕

拓華微笑 世の各種團体に カフェーの女給

罪をさせ、又世話をしするよ

他的工夫をせぬ、上に對し

て聊かにても忠志をつくさう

陸軍大將鈴木啓介(會長)

來賓挨拶：總理大臣齊藤

一、聖霽萬歲 一、聖辭

實、外務大臣内田康哉

一、決意宣明：陸軍大將

鈴木莊六 一、會歌合唱

：陸軍戶山學校軍樂隊

：陸軍中將赤井春海 日

比谷新音樂堂より中繼

講談：國來朝△遠晉省新政樹立大綱成(同六)

：國來朝△遠晉省新政樹立大綱成(同六)

晚秋の菊田に開つて

板敷に假寝の夢を紹ふ

演習第一夜の磐中健兒五百

千五百餘名参加の

郡下青三合演習

来月下旬磐崎方面で開催

都内四十三青年訓練所聯合

千五百餘名参加の發火演習

は來月二十、廿一の兩日二十九聯隊派遣の輕機三分隊

を交へて壯快な接戦の場面

を展開する筈であるが第一

船、岩ヶ岡間並渠、渡邊村

田部間に於て夜間戰闘を、

第二日は湯本泉間に於て遭

遇戦をするが細目は且下

八谷盤中、駒場平尚の兩配で第一快捷した

第一校決捷。平第一對磐

中校庭で行つたが八對四では次の如くである

延友勝つ。平軟式野球大

會磐中O.B.對延友準決勝は平商校では

昨二十七日午後三時から磐會を開催するがプログラム

は次のようにある

平商生徒の雄辯會

若き雄叫びの番組決

平商生徒の雄辯會

恩賜就學獎勵金

都下へ約一千圓

昨廿七日交付さる

本縣では恩賜就學獎勵金

金を二十七日額定一萬三千

百二十四圓五十錢を配當し

たがこれは貧困のため就

學困難な兒童を救濟するた

めに市町村がそれより適當

な補充財源を得て直接教科

書、學用品、被服、或は缺

食兒には食料品を給與する

ことになつてゐるので絶對

他の費用に流用出來ぬ金で

ある、本部の分は左記の如

く合計九百九十一圓四錢で

ある

渡邊 金額 一六、一五

町村 金額 四前

上遠野 金額 一六、一五

田人 金額 一六、一五

飯野 金額 一六、一五

玉川 金額 一六、一五

好聞 金額 一六、一五

入遠野 金額 一六、一五

山田 金額 一六、一五

植田校二學級增加

膨張に悩む町財政

特別補助に緩和さる

石城販賣

農倉規程變更

糸崎野長一、大戰後のヨリ

國心の必要ニ内海貨

ロッバとアシア根本健

相馬鄉友會馬城會平支部で

兒自助ノ管野浩

人生は來月四日午後五時から住

は活動1.鹽澤古吉

語演説4.山田正直未定

磐野長一、坂上浩愛

谷光哉未定

磐中真木林平未定

磐中四家華道を行く瀧

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

植田校二學級增加

特别補助に緩和さる

糸崎野長一、大戰後のヨリ

國心の必要ニ内海貨

ロッバとアシア根本健

相馬鄉友會馬城會平支部で

兒自助ノ管野浩

人生は來月四日午後五時から住

は活動1.鹽澤古吉

語演説4.山田正直未定

磐野長一、坂上浩愛

谷光哉未定

磐中真木林平未定

磐中四家華道を行く瀧

馬城會

植田校二學級增加

特别補助に緩和さる

糸崎野長一、大戰後のヨリ

國心の必要ニ内海貨

ロッバとアシア根本健

相馬鄉友會馬城會平支部で

兒自助ノ管野浩

人生は來月四日午後五時から住

は活動1.鹽澤古吉

語演説4.山田正直未定

磐野長一、坂上浩愛

谷光哉未定

磐中真木林平未定

磐中四家華道を行く瀧

馬城會

植田校二學級增加

特別補助に緩和さる

糸崎野長一、大戰後のヨリ

國心の必要ニ内海貨

ロッバとアシア根本健

相馬鄉友會馬城會平支部で

兒自助ノ管野浩

人生は來月四日午後五時から住

は活動1.鹽澤古吉

語演説4.山田正直未定

磐野長一、坂上浩愛

谷光哉未定

磐中真木林平未定

磐中四家華道を行く瀧

馬城會

植田校二學級增加

特別補助に緩和さる

糸崎野長一、大戰後のヨリ

國心の必要ニ内海貨

ロッバとアシア根本健

相馬鄉友會馬城會平支部で

兒自助ノ管野浩

人生は來月四日午後五時から住

は活動1.鹽澤古吉

語演説4.山田正直未定

磐野長一、坂上浩愛

谷光哉未定

磐中真木林平未定

磐中四家華道を行く瀧

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會

馬城會